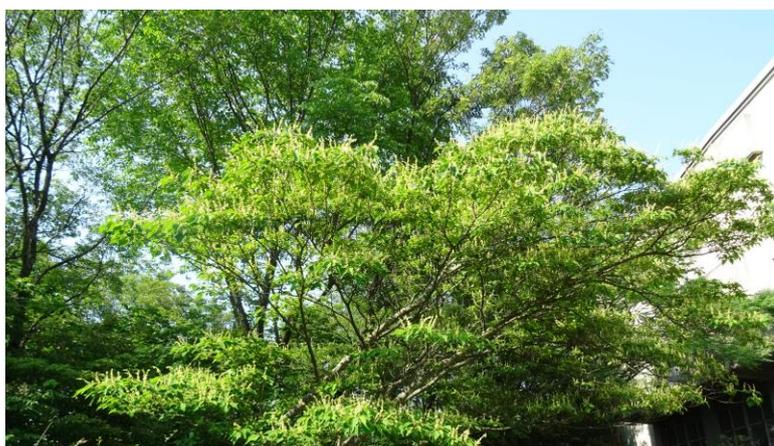


お鍬山 植物たより (H27. 6. 15)

雨の降った直後のお鍬山の早朝散歩は樹木も生き生きしていて、すがすがしさを感ずります。今回の散歩は、遊歩道上に赤い実をつけたヒメコウゾが垂れ下がってトンネルのようにになっている所を潜り抜けたので風情もありました。



アカメガシワ
←雄花 雌花→



物置の西側、豊田高校との境界あたりに自生しているアカメガシワの巨木が満開です。雄の木です。雄花を拡大しました。参考に雌花も掲載しました。籠川の側道などを散歩していてもよく見かける樹木ですが、お鍬山でも多くを見る事ができます。雄の木が多い

ような気がします。柏餅はカシワの葉が用いられていますが、昔はアカメガシワも別名・五菜葉（ゴサイバ）と言われたほどにその葉が各種用途に用いられ、新芽が赤いことからアカメのカシワが名前の由来になったようです。

タケニグサが、黄色の花のキンシバイをバックに市道沿いの斜面に咲いています。草丈1～2mの大形の植物です。中空の茎が竹に似ていることから、この名前がついたとか。中空の茎を切断すると出る黄色の乳液は有毒だそうです。

ドクダミがお鍬山の南、堰堤上流の湿地に自生しています。ミズバショウとどこか似ています。ミズバショウでのポイント、仏像の光背のような形をした白い仏炎苞がドクダミでは4枚の花弁のようなものになります。ただ、人家周辺などの日蔭地に群生し、嫌われものです。

特有の臭気もはなちます。しかし、お鍬山で

は花のおわったアヤメに混じって咲いているところなどは、その白さが映えて見事です。



ドクダミ



タケニグサ